

令和 4 年度 国本中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

人間尊重の精神を基盤に、やさしい心とたくましい気力・体力をもち、社会の発展に貢献できる人間を育成する。

（2）具体目標

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 健康で意志の強い生徒 | ② 自ら学び創造力のある生徒 |
| ③ 心情豊かで思いやりのある生徒 | ④ 勤労を愛し実践力のある生徒 |

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

人権尊重の精神を基盤として、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など、変化の激しい社会を生きるために必要となる「生きる力」を確実に身に付けさせる指導に力を入れ、『生徒・職員が共に成長できる学校』を目指す。そのために、人間力の形成に向けて、全教育活動を通じて、「ほめて伸ばす指導（自己存在感・自己肯定感・自己有用感など自尊感情を育む指導）」の充実を図り、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成していく。また、こうした教育活動がより効果的に実践されるよう、学校における働き方改革を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 「生徒が明るく、いきいきと活動する学校」づくりに努める。
- (2) 生徒理解に基づいた生徒指導の充実に努める。
- (3) ○学習において、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒を認め生かす授業の工夫に努める。
「とちぎっ子学力アッププロジェクト」「道徳教育の充実」「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に努める。
（「宇都宮モデル」の活用）
- (4) ○基本的な生活習慣と規範意識の育成に努める。
- (5) 教職員が課題を共有し、協働して教育活動に当たれる職場づくりに努める。
- (6) 学校、家庭、地域の連携を深め、特色ある学校づくりを推進する。
- (7) 教職員の働き方に関すること ① 勤務時間を意識するとともに業務の効率化を図る。
② 勤務時間の管理及び部活動指導ガイドラインの遵守。

【国本地域学校園教育ビジョン】

「自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子」～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 関連する法令と学習指導要領の示すところに従って編成する。
- (2) 校長の学校経営方針のもと、教育目標の実現を図るために編成する。
- (3) 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた育成を通して、「生きる力」の醸成を目指して編成する。
- (4) 各教科・領域の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるように生徒の実態に応じ、個別指導やグループ指導、学習内容の習熟度に応じた指導など、個に応じた分かる授業の展開に努める。
- (5) 人間として調和のとれた生徒の育成を目指し、心身の発達段階の特性を考慮して編成する。特に「特別の教科道徳」の研修を、全職員の協力のもと、計画的に行うことにより、道徳教育を充実させ、生徒の道徳性を育てる。
- (6) 地域や学校の実態を考慮し、「特色ある学校づくり」の基盤となるように編成する。
- (7) 全教職員の参画と教師同士の連携・協力によって編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

○いきいきと学習活動等に主体的に取り組む生徒の育成

【 学 習 指 導 】

○宇都宮モデルに基づく授業改善を通し、学びに向かう力の育成と学力の向上を目指す

【 生 徒 指 導】

○ルールやマナーを守り、正しい判断力に基づいた行動のできる生徒の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

○自ら健康・体力の向上に努め、心身ともに健康でたくましい生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】「生徒は授業中、話をしっかり聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	○①「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善（宇都宮モデルに基づく授業改善の推進） ②家庭学習の充実（A Iドリル等） ③英語、数学におけるT・Tや習熟度別学習の充実	A	【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 90.9%、生徒 93.2%、保護者 84.2%でいずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・学力向上プログラムを行うことで、基礎・基本の確実な定着を目指し、家庭学習の充実を図る。また、各種学力調査結果の分析をもとに、宇都宮モデルに基づく授業改善の推進を行う。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】「生徒は誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	①道徳教育、人権教育の充実（学年ごとの教材研究の実施） ②学校行事や各種体験活動における望ましい人間関係の構築	B	【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 90.9%、生徒 89.7%、保護者 91.0%でいずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・道徳教育・人権教育を要に、学校行事や各種体験活動を継続して実施する。その際、ふさわしい言葉使いやマナー、思いやりを持った行動を学校全体で促していく。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上	①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組の充実 ②道徳の授業の充実	B	【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 90.9%、生徒 89.1%で、どちらも昨年と比較してほぼ横ばいであるが数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・生徒会を中心に生徒がきまりについて関心を持てるように指導し、主体性を向上させる。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 地域住民の肯定的回答 80%以上	○①学校や地域学校園の「あいさつ運動」の推進 ②授業や部活動等、学校教育全般を通じた気持ちのよいあいさつの励行	B	【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 96.8%、生徒 84.8%、地域住民 100%で、昨年と比較してほぼ横ばいであるが数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・学校生活におけるあいさつの大切さを学活や道徳の授業などを中心に、継続して指導していく。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上	①学習や生活において、計画的・継続的に取り組む習慣の定着 ②学習や部活動において、困難なことにも根気強く取り組もうとする態度の育成	A	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 81.7%は数値指標に達成している。教職員 78.8%は数値指標の80%以上に達成していない。 【次年度の方針】 ・学習や生活において計画的・継続的に取り組む習慣を定着させ、根気強く取り組む態度を育成する。
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上	①適切な健康診断の実施と事後指導の徹底 ②交通安全教室や避難訓練を通じた安全指導の充実	B	【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 90.9%、生徒 93.9%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・健康診断や事後措置の実施から健康管理の大切さに気付き、必要な治療は早期に対応できるようにする。 ・安全な登下校や災害時の対処の仕方について指導する。

<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①キャリア教育の推進 (宮っこチャレンジの充実) ②教科や道徳における社会貢献の必要性や重要性の指導充実</p>	A	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 81.7%は、数値指標に達成している。教職員 78.8%は数値指標の80%以上に達成していない。</p> <p>【次年度の方針】 ・最終的に、中学校卒業後の進路を自己決定できるように、生徒を信じ、生徒主体の活動を今まで以上に多く取り入れ自己肯定感を高める。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①英語の授業における会話活動の充実 ②ALTの積極的活用</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 84.8%、生徒 86.8%で、いずれも数値指標に達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度同様、ALTとのTTスケジュールを計画し、全学年学級で英会話活動の一層の充実を図る。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①社会科や総合的な学習の時間(宇都宮学)における郷土学習の充実 ②道徳における郷土愛の涵養</p>	A	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 74.6%は、数値指標の80%以上に達成していない。</p> <p>【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間で宇都宮学を計画的に履修し、郷土についての理解を深める。また、社会や道徳で宇都宮の題材を扱う。</p>
<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①ICT機器や図書館を積極的に活用した授業の展開促進 ②効果的な活用法に関する職員研修の充実</p>	A	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 100%、生徒 72.6%で、生徒は数値指標の80%以上に達成していない。</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員が、クロームブックの利点を理解し、教科指導に生かせるように、職員研修を充実させ、気軽に使いやすい存在となることを目指す。</p>
<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①福祉教育の充実 ②高齢者福祉施設への交流活動の推進</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 90.9%、保護者 91.0%、地域住民 100.0%、生徒 89.7%で、いずれも数値指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・道徳や2年総合での福祉教育、福祉委員会での活動に引き続き力を入れていく。</p>
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①社会科や理科、技術・家庭科、総合的な学習の時間(宇都宮学)における環境教育の推進 ②生徒会を中心とした3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動の推進</p>	A	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 60.6%、生徒 66.2%で、いずれも数値指標を達成していない。</p> <p>【次年度の方針】 ・各教科で環境教育の推進を行う。生徒会を3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動の推進を行う。</p>
<p>B2 生徒はきまりを守り、互いに協力し合って、学校生活を送っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組充実 ②道徳の授業充実</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 92.3%、生徒 93.9%で、どちらも昨年と比較してほぼ横ばいであるが数値指標を大きく上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・生活委員会において生活目標を設定し、生徒から呼びかけることで、生徒の主体性をより一層高める。 ・道徳の授業を充実し、公德心を育む。</p>

	<p>B3 生徒は、自主的に自分の健康には注意をして生活をしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①基本的な生活習慣を確立するための保健指導の推進 ②感染症予防対策と保健教育の充実</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 90.9%、生徒 91.6%、で、数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・衛生検査の結果や生活の様子などから個に応じた指導をする。 ・保健体育の授業の充実と日常の保健指導し繰り返し呼びかけを行う。</p>
	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①特別支援教育の推進 ②校内支援委員会や職員研修の充実</p>	B	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は、97%で、昨年度の 90.3%、一昨年度の 94.4%を大きく上回っている。 【次年度の方針】 ・個に応じた支援策のより一層の強化 ・通常学級における要支援生徒への支援 ・インクルーシブ教育システムの構築</p>
目	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①アンケートによる実態把握 ②教育相談の充実 ③生活委員によるいじめ撲滅集会の実施と啓発リボンの制作</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 94.5%、生徒 100%で、どちらも数値指標を大きく上回っている。 【次年度の方針】 ・いじめアンケートや教育相談を定期的実施し、早期発見、早期対応に努める。 ・学級活動等において、学校生活の中の身近な事例を取り上げて指導するなど、いじめは絶対に許さないという意識を高める。</p>
指	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①自己存在感や自己有用感が感じられる学級経営の工夫 ②学級活動や道徳、学校行事等を通じた温かい学級集団づくり ③教育相談の充実</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 100%、保護者 85%、生徒 92%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・教職員の不登校防止への取組が生徒・保護者に正しく理解されるように努めると同時に、より良い具体策を考え実行する。</p>
学	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①日本語教育についてなど、関係機関との連携 ②組織体制による支援</p>	B	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が、昨年度よりも 6 ポイント以上向上し、97%になり、数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・本人と保護者の意向を確認しながら、必要に応じて日本語習得のための学習機会を個別に設けるなどして、特に言語面のサポートを強化していく。</p>
校の姿	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校行事や体験活動（草花や農作物の栽培、社会奉仕活動）の充実 ②諸検査をもとにした事例研究 ③スタンダードダイアリーを活用した生徒理解と支援の充実</p>	A	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員、生徒、保護者とも、数値指標の 80%以上は達成しているが、生徒の評価が前年度よりも 5%以上下がっている。 【次年度の方針】 ・生徒が自己肯定感をより高めながら学校生活を送れるように、各教科の授業、生徒会活動、学校行事などの充実を図る。また、褒めて伸ばす指導を強く心がける。</p>

<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①目標の明確化と授業の振り返りの実践 ②教師同士の授業公開による校内研修の充実 ③宇都宮モデルに基づく授業改善の推進 ④英語、数学におけるT・Tや習熟度別学習の充実</p>	A	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 97.0%、生徒 90.4%で、いずれも数値指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・学力向上プログラムを行うことで、基礎・基本の確実な定着を目指し、家庭学習の充実を図る。また、各種学力調査結果の分析をもとに、宇都宮モデルに基づく授業改善の推進を行う。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①校務分掌の見直しと改善 ②校務に関わる組織体制の整備と強化</p>	A	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定回答は 78.8%で、去年度は 80.6%、市平均は 90.9%で、数値指標も含め、全て下回っている。いずれにせよ重要課題である。</p> <p>【次年度の方針】 ・組織風土の改革が必須。 ・問題意識の共有や課題の洗い出し等。 ・校務分掌等ごとの調整や合意形成サポートをするミドルリーダーの育成および適正な配置を行う。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①業務内容の見直しと改善（時間予算ワークショップの実施） ②出退勤時間の管理と指導・助言 ③デジタル機器の活用</p>	A	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定回答は、75.8%で、去年度は 67.7%、市平均は 65.6%で、数値指標 80%は下回っているが、去年度・市の平均よりは上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・リフレッシュデーの主体的な設定のための手立てを模索する。 ・時間予算ワークショップの実施。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①乗り入れ授業や合同あいさつ運動の実施 ②小6中学校訪問 ③4校全体研修会の実施</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 78.8%、保護者 80.4%で、数値指標をほぼ達成している。 ・3年ぶりに小6の中学校訪問実施。 ・児童生徒 64.6%（昨年度比 6.9 上昇）。 ・コロナ禍の中、できることを実施。</p> <p>【次年度の方針】 ・コロナの第5類への移行を受け、活動の充実を図る。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域協議会を中心に、国本地区の伝統的行事への生徒の積極的参加体制づくり ②PTA 活動の推進</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 93.9%、保護者 82.7%、地域住民 100%で、いずれも数値指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の活動を継続する。また地域協議会への情報発信とともに協力体制を保つ。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①積極的な情報発信による家庭との連携強化 ②地域学校園における情報交換</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 93.9%、保護者 82.7%、地域住民 100%で、いずれも数値指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・家庭や地域社会、関係機関との連携強化。 ・早期発見・早期対応を心がけ、組織的な対応を徹底する。</p>

	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①毎月の安全点検の徹底 ②教育委員会や機動班・業者と連携した速やかな改善・処理</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 97.0%、保護者 90.7%、地域住民 100%で、数値指標 80%を上回り、平均 95.9%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度同様の取り組みを継続する。また危機管理としてリスクマネジメントに努める。</p>
	<p>A25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①ICT 機器の活用に関する職員研修の充実 ②図書選定委員会を中心とする計画的な図書の補充</p>	A	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 100%、生徒 72.6%で、生徒は、数値指標 80%を達成できていない。</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員が、クロームブックの利点を理解し、教科指導に生かせるように、職員研修を充実させ、気軽に使いやすい存在となることを目指す。</p>
	<p>B1 教職員は、教育課程の編成に全員が積極的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①各校務分掌の見直しと組織体制の強化 ②学校の取組に関する保護者への積極的な情報提供</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 81.8%で、数値指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・編成プロセスに大切にしたい、適切な教育課程の編成。 ・各校務分掌の見直しを進める。</p>
本校の特色・課題等	<p>B4 生徒は何事にも主体的に取り組む、いきいきと活動している。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校行事や体験活動（茶摘み・製茶、草花や農作物の栽培、社会奉仕活動）の充実 ②生徒会活動の充実</p>	A	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 87.9%、生徒 92.9%で、数値指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒の主体的な取り組みは、学校生活のあらゆる機会に、問題提起して行わねばならない目標である。そ達成のため、教職員の個に応じた質の高い支援・指導の充実を図る。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

・大きな課題を2つ挙げると、A12の項目で、(生徒は「持続可能な社会」について、関心を持っている。)市の平均の肯定的割合が、教職員 73.3%、生徒 76.0%に対し、本校は、教職員 60.6%、生徒 66.2%である。次に、A9の項目で、(生徒は、宇都宮の良さを知っている。)市の平均の肯定的割合が、教職員 77.3%、生徒 81.7%に対し、本校は、教職員 66.7%、生徒 74.6%である。この2つは、原因を分析し、改善するための計画を具体的に立て、実践しなければならない。

・保護者のアンケートからは、A10、A25の項目で、(生徒はICT機器や図書等を学習に活用している。)肯定的割合が、昨年度と比較して6.8%下がっている。反面、教職員3.2%アップ、生徒1.5%アップとなっている。保護者へのICT機器や図書等を学習に活用している情報発信に努めることが求められる。

○成果として生徒の肯定的割合からは、昨年度と比較して6.9%アップした項目A21(学校は、「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。)がある。生徒会が中心で行う小中合同のあいさつ運動や、本校生で構成するKLC(国本リーダーズクラブ)が、国本西小学校運動会のサポートを行う等、生徒が主体的に行った活動があったため、アップしたと考える。

7 学校関係者評価

- ・保護者からの全体アンケートの肯定的割合で、昨年度と比較し、6.8%アップした項目が、A 4（生徒は時と場に応じたあいさつをしている。）である。今後も学級活動・部活動等で継続的な指導をしていく。
- ・地域住民からの唯一の自由記述に、「国本中学校の地域との伝統的な教育への取組が継続しており、他の学校にも負けない良い育成ができてることが誇りです。」とある。
- ・地域住民からの全体アンケートの肯定的割合は、A 2 1 以外は、全て 100%である。A 2 1（学校は、「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。）に関しては、今年度もコロナ禍の中、地域住民とふれあう行事等が中止となったことが一因となっていると思われる。まずは地域協議会との交流の機会やその方法も新たに検討しなければならない。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて） に

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・「ICT機器や図書等を学習に活用する（A 1 0、A 2 5）」に関しては、教職員の学習指導のスキルアップも含め、授業の質が高められる研修や情報交換を適宜持てるようICT教育担当を中心に（ICT支援員のサポートとともに）進める。
 - ・学校関係者（保護者・地域住民）から、より正確に学校評価を行っていただくためにも、オープンスクールの週間を今年度より次年度は増やすことで、教職員・保護者・地域住民の相互の連携・協力の促進を図り、信頼される学校づくりを目指す。
 - ・保護者の自由記述からは、教職員のコンプライアンス意識の高揚を図るよう求められる内容（言動）もあった。コンプライアンス・チェックシートを活用し、教職員全員で意識の向上を図るよう努める。
 - ・不登校対策として、A 1 5（教職員は、不登校を生まないように、一人一人の生徒を大切にし、生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている。）の肯定的割合が、教職員 100.0%、保護者 85.0%、生徒 92.9%であり、保護者が低い。また、教職員と保護者の数値のギャップが大きい。このギャップを生まないためにも、「不登校が生じないような学校づくり（自己が大事にされる場・充実感が得られる居場所・信頼関係が築ける場）」、「不登校生に対する教育相談等効果的な支援の充実」が図れるよう努める。
- 地域学校園では、学力向上及び不登校対策について、引き続き小中で連携し情報交換をしながら進めていく。